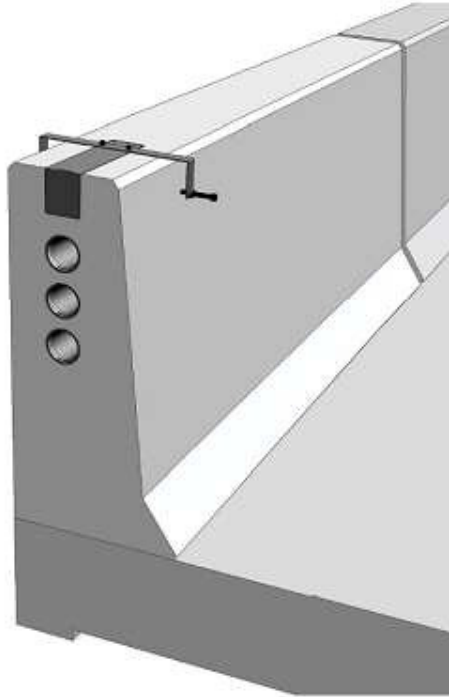


プレキャスト製品における 確実な管路接続を可能にします！

KURIMOTO 通信管ジョイント

国土交通省 新技術・情報提供システム NETIS 登録 No. KK-230033-A

製品概要



管内への目地充填剤流入リスクを解消

通信管路が埋設されたプレキャスト（以下、PCa）製品に使用することで、従来は困難であった目地部における管路の接続確認が可能となります。

安心の止水性能

中子両端部の水膨張性不織布が、止水性能を発揮します。接続状態で外水圧 0.05MPa を与えた場合でも、管内への水の流入を防止できる性能を有しています。

様々な設置条件に対応

バネによる飛び出し接続方式のため、手や道具が入らない狭い目地部や、PCa 製品を水平移動できない設置方法の場合でも、ご使用になれます。

スムーズな施工を実現

据え付け施工時の管芯ズレに対応できる許容公差（上下・前後方向±5mm）を持たせています。

部材構成

【PCa 製品への埋設部材】

外管の材質：VE 製



外管（飛出側）
(そとかん とびだしがわ)
※中子・バネ飛び出し側

外管（受側）
(そとかん うけがわ)

【現場で使用する接合部材】

中子芯材の材質：VE 製、バネ：ステンレス製

中子 (なかこ)



水膨張性不織布

バネ

【現場で使用する補助部材】



門型治具 (もんがたじく)

中子押し込み治具

ストッパー

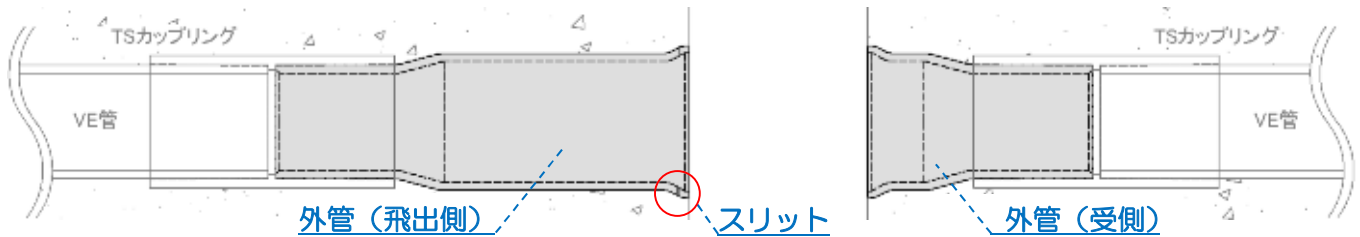
修正棒

使用方法

本製品（外管）は熱成形品の為、コンクリートの水和熱や蒸気養生などの影響により、本体温度が 75℃を超える状況になると収縮変形が発生し、現場での管路接合が不可能となる恐れがあります。PCa 製品製作時、保管時には、本体温度が 75℃を超えないよう十分取り扱いに注意して下さい。

【PCa 製品 製作時】

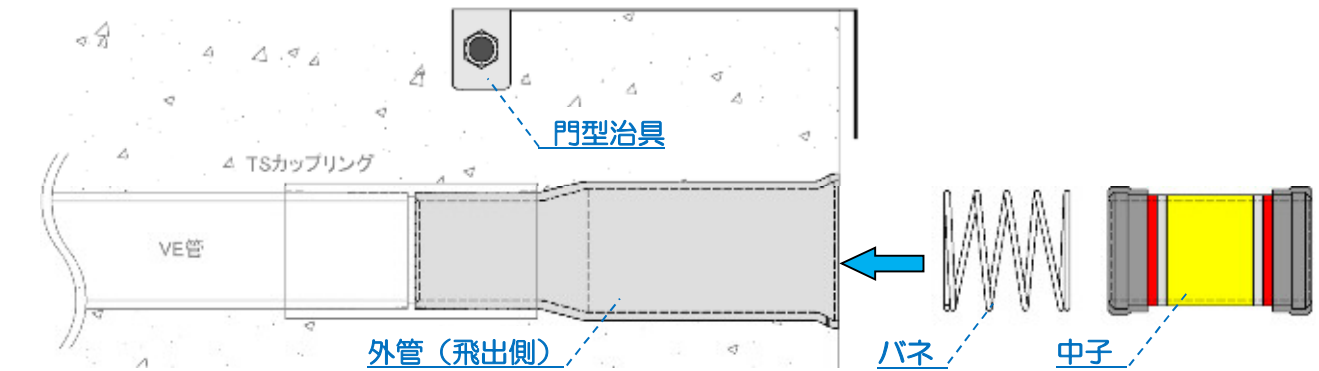
PCa 製品管路の両端面に、外管（飛出側）、外管（受側）をそれぞれ埋設します。
※外管（飛出側）には、ストッパーをセットするためのスリットを設けております。
埋設時、向きにご注意ください。



（注意）脱型後、外管に変形等の不具合が発生した場合は、補修が必要となります。
補修方法についてはお問い合わせ下さい。当社でも補修は可能ですので、別途お見積り致します。

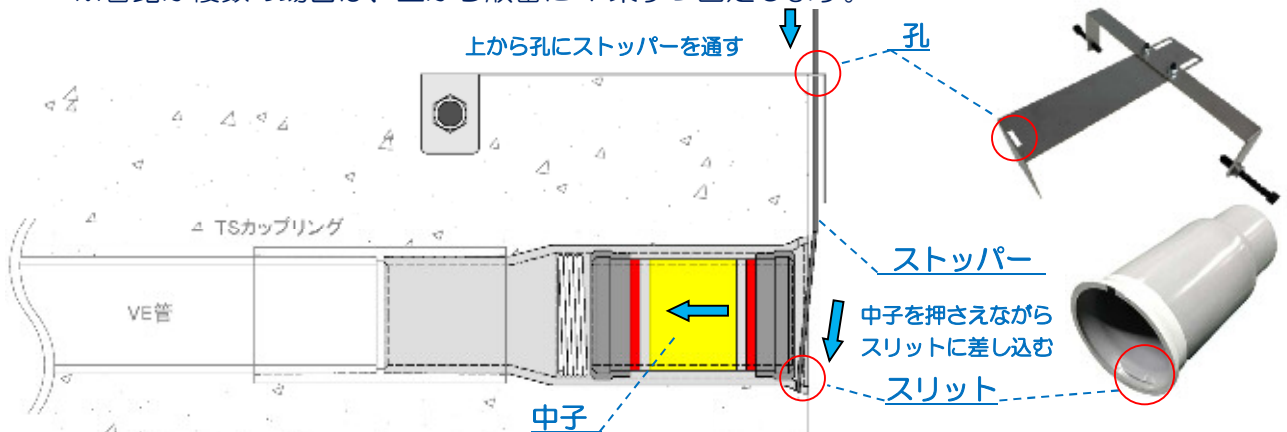
【現場施工時 ① PCa 製品据え付け前】

① 外管（飛出側）を埋設してある製品に門型治具を取り付け、バネ、中子を入れます。



② 門型治具の孔にストッパーを通し、中子を押しえながらスリットにストッパーを差し込み、固定します。

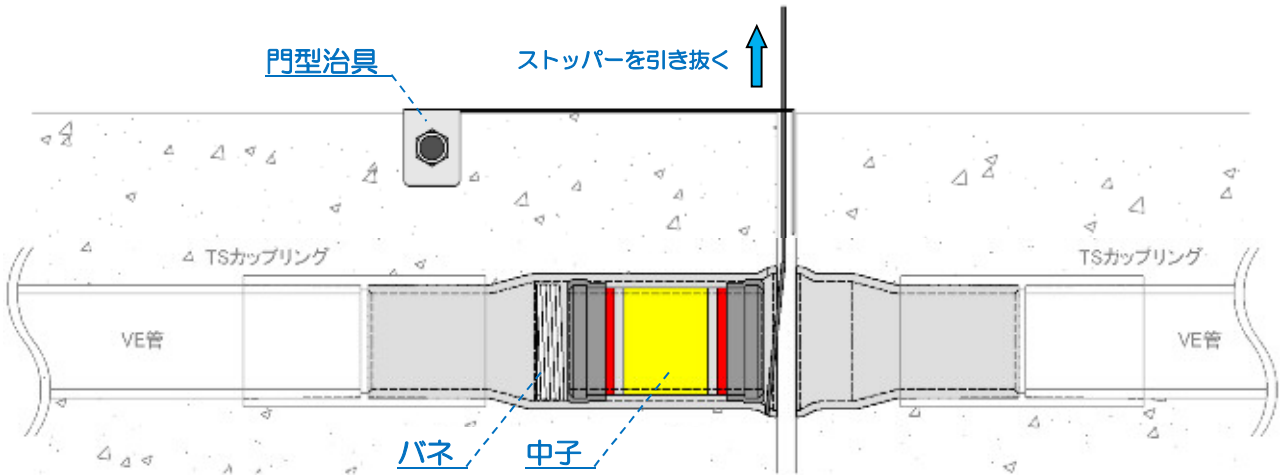
※管路が複数の場合は、上から順番に 1 条ずつ固定します。



※ 中子両端部の水膨張性不織布に水が付着すると膨張し、接続が困難になります。
雨天時は中子に直接雨水が当たらないよう、雨避けの実施をお願いします。

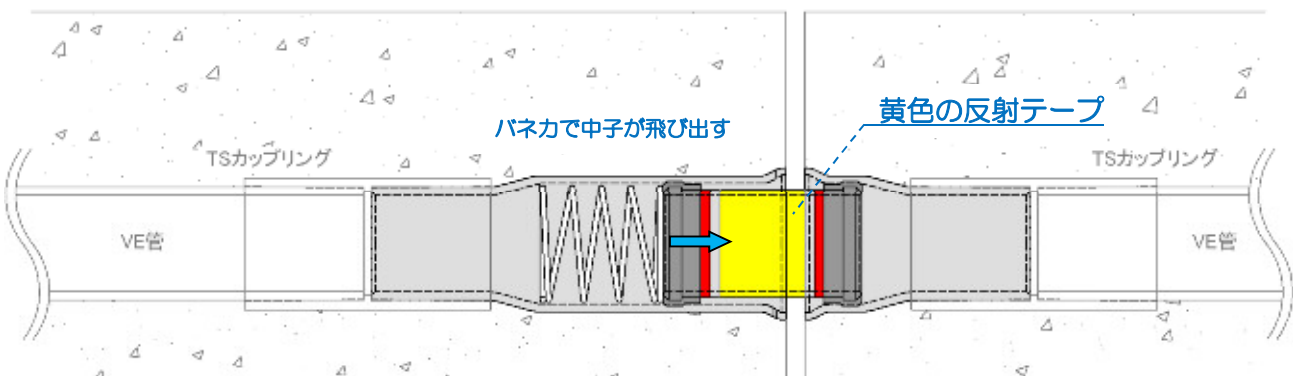
【現場施工時 ② PCa 製品据え付け後】

- ① PCa 製品据付け作業後、ストッパーを引き抜くとバネ反力で中子が飛び出し、管路が接続されます。その後 門型治具を回収します。
 ※管路が複数の場合は、下から順番に1条ずつ引き抜くと、中子の接続確認が容易です。

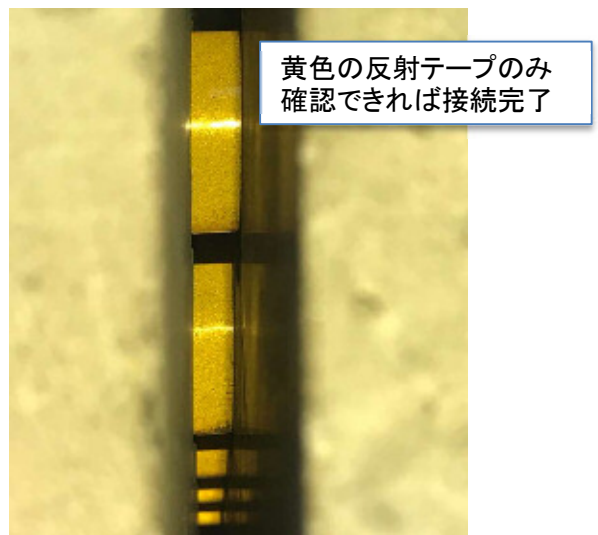
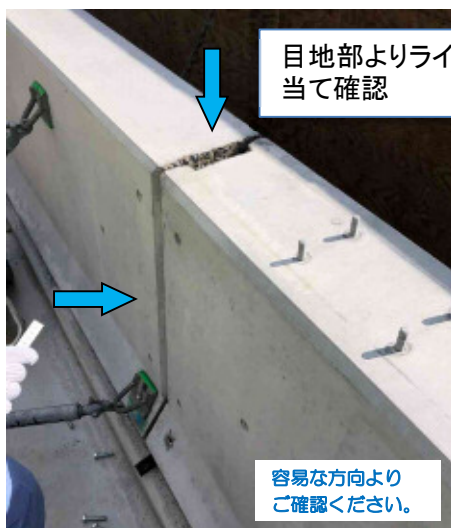


- ② 目地部から中子の接続状況を確認します。全ての管路で黄色の反射テープが確認できれば、接続完了です。

※ 確認は必ず実施をお願いいたします。未確認の場合、打設時に目地充填剤が管路に流入する恐れがあります。



実際の確認状況



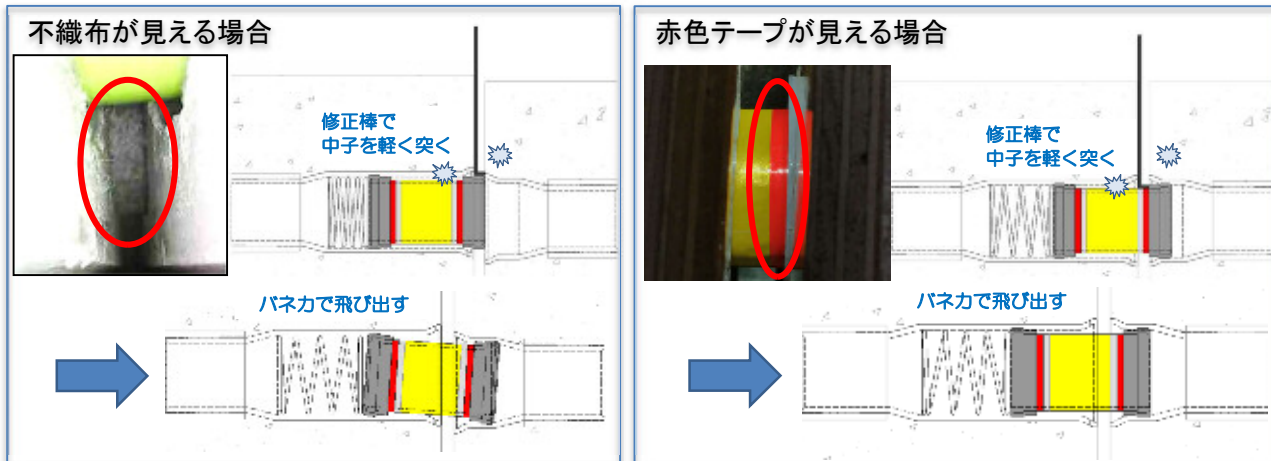
【現場施工時 ③ 黄色テープのみが確認できない場合の対処法】

以下の場合、**打設時に目地充填剤が管路に流入する恐れがあります**ので、対処をお願いします。

(1) 水膨張性不織布、赤色テープが見える場合

→ 中子が完全に飛び出していない。

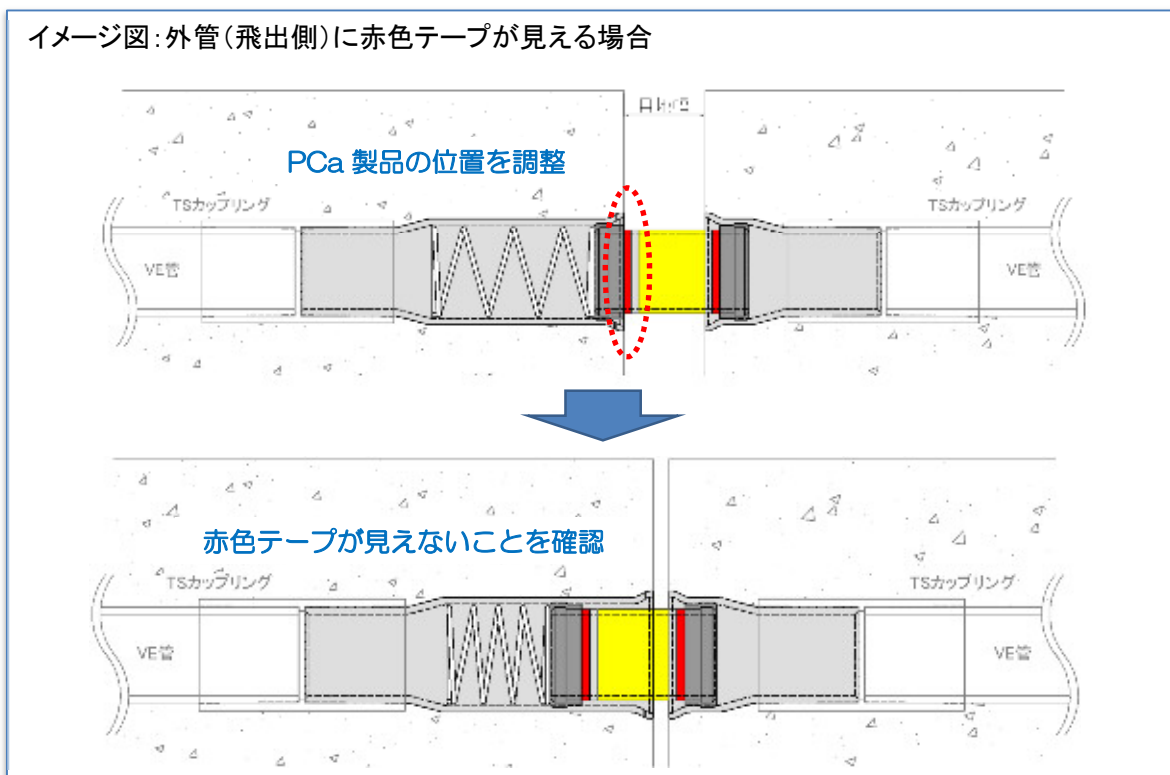
目地から修正棒を入れ中子を軽く突くことで、バネ力により飛び出し接続されます。



(2) 赤色テープが飛出側に見える場合

→ 目地幅が許容公差よりも大きくなっています（設計値+10mmを超えています）。

施工管理者とご相談の上、PCa 製品の位置調整をお願いいたします。



※ 正しくお使い頂くため、PCa 製品 製造時、現場施工時における作業手順をまとめた施工要領書を用意しております。記載内容に従い、ご使用ください。

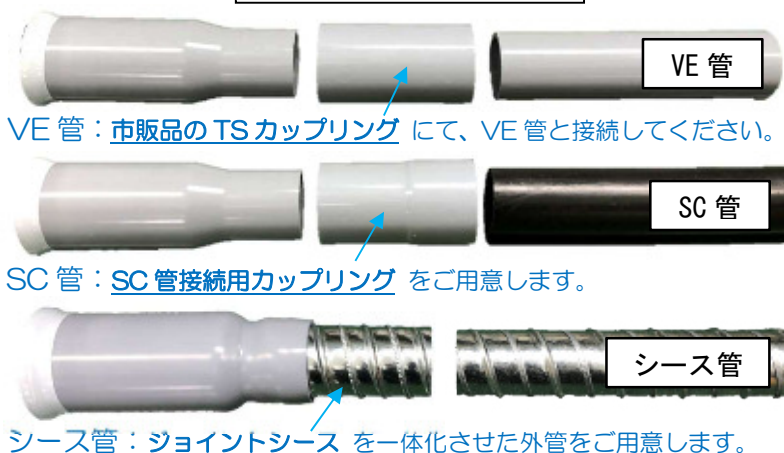
対応管種

以下の管種に対応しております。

表 1. 対応管種

管種	呼径	
VE管 硬質ビニル電線管	VE42	VE54
SC管 外面一層ポリエチレン被覆鋼管	SC50	
シース管 栗本鐵工所製 ワインディングシース	#1038	

各管種の接続イメージ



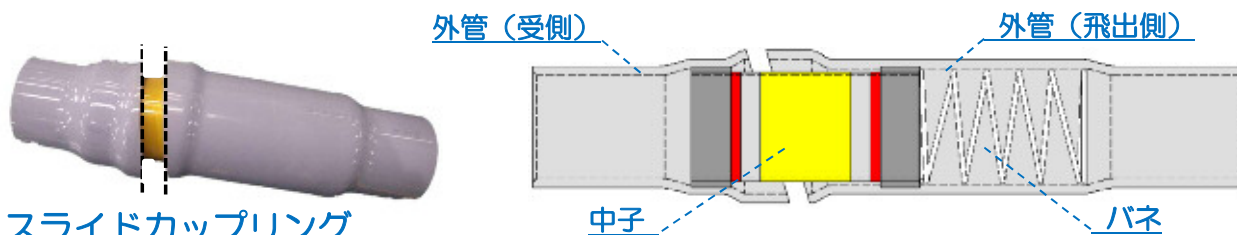
※上記以外の呼び径、管種についても検討いたします。詳しくは担当者までお問い合わせください。

オプション品

【PCa 製品への埋設部材】

斜角タイプ

- PCa 製品の断面に角度が付く場合に対応した製品です。

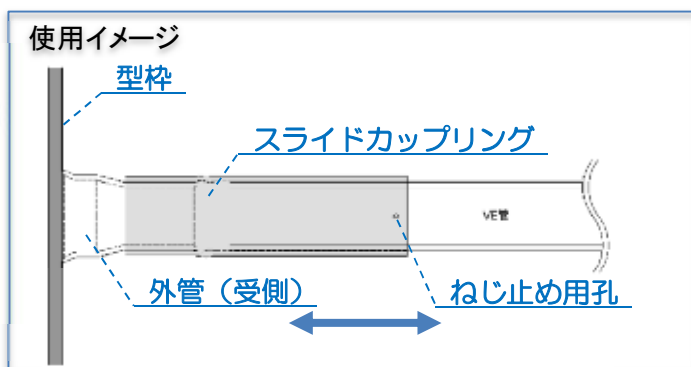


スライドカップリング

- PCa 製品の製作時、管路の全長調整を容易に行うことができる製品です。



スライドカップリング単品 スライドカップリング一体型



【現場で使用する接合部材】

中子（ポリエチレン仕様）

- 目地にモルタルを打設しない場合等、中子が外部に露出する箇所向けに、芯材をポリエチレン管として耐候性を向上させた仕様です。



安全のため必ずお守り下さい。

※取り付け前に、下記の事項を必ずお読みになり、正しく安全に取り付けて下さい。

※下記に示した事項は、安全にお使い頂く為の重要な内容を記載してありますので必ずお守り下さい。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると人がケガをする可能性及び物的損害が発生すると想定される内容を表示しています。



「禁止」を意味します。



「分解禁止」を意味します。



「重要事項」を意味します。

警告



◆ 端部に当たるとケガをする恐れがあります。施工時に意図せずに中子が飛び出すおそれがあります。顔などを絶対に近づけないで下さい。

◆ 取り付け時は、転落、つい落、製品落下等がないように充分安全に気を付けて行って下さい。

◆ 必要な保護具（安全靴、保護メガネ、手袋、作業着等）を着装の上、作業を行って下さい。ケガをする恐れがあります。

◆ 労働安全衛生法、建築基準法等、その他法令、条例等に従って設計・施工して下さい。

◆ 廃材の処分は、法令および地方自治体の条例に従って行って下さい。

◆ 製品が有機溶剤等に、触れないようにして下さい。製品劣化の原因となる場合があります。

◆ 製品は、通信管接合部材ですので、それ以外の用途に使用しないで下さい。製品の破損及び劣化の原因となります。



◆ 製品の過度の重ね置きはしないで下さい。変形・破損の恐れがあります。

◆ 製品が水に濡れない様に保管、施工して下さい。洗浄をしないで下さい。製品破損及び劣化の原因となります。



◆ 改造はしないで下さい（製品の切断および不織布・テープの剥離等）。

注意

◆ 製品を踏みつけたり、乗ったり、投げたり、ものに当てたりしないで下さい。破損、変形の恐れがあり



ます。また転倒したり、当たったりしてケガをする恐れがあります。

◆ 製品・部品の取り付けは確実に行って下さい。落下により、ケガをする恐れがあります。

◆ 75℃を超える温度環境下で保管・使用しないで下さい。変形の原因となります。

◆ 製品に破損、変形等の異常のある場合は、施工前にお申し付け下さい。

◆ 可燃物ですので、火気に十分注意して下さい。

◆ 製品の近くで溶接作業をする場合は、十分な養生を行い、溶接火花や、熱の影響がないようにして下さい。

◆ 製品を放り投げたりして衝撃を与えないで下さい。キズ、変形や破損の原因となります。



◆ 運搬時・施工時に中子の不織布が濡れてしまうと施工することが出来ません。雨天時には十分注意して下さい。

◆ ご使用・施工時には下記の事項にご注意下さい。製品の破損及び劣化の原因となります。

① 製品に影響をおよぼす著しい振動がある場所での使用は避けて下さい。

② 製品に強い衝撃を与えたり、落としたり、投げたりしないで下さい。

③ 製品が破損、変形するような強い力を加えないで下さい。

④ コンクリート打設時は、製品に直接パイプレータが当たらないようにご注意して下さい。製品が破損する原因となります。

⑤ 0℃以下の環境では外力を与えないで下さい。

免責事項

※下記のような場合には保証対象外となります

◆ 弊社発行の施工手順書および施工手順説明動画に記載された事項に従わない設計・施工により不具合が生じた場合。

◆ 製品が変質・変形する恐れのある場所で使用された場合、及び変質・変形の恐れのある施工がなされた場合。

◆ 天変地異（天災・台風・洪水・地震・落雷・つらら等）による損傷。

◆ 施工により生じた製品の不具合。（施工時の中子・治具の破損による不具合も含む。）

◆ 弊社の製品以外の部材による不具合。（PCa 壁高欄製作時による不具合も含む。）

◆ 建物自体の変形や変位により生じた不具合。

◆ 他の工事が原因による不具合の場合。

◆ 初期の損傷ないし不具合を長期放置したために生じた拡大損傷。

◆ 製品または部品の経年変化により変褪色、微細なひび割れ等が生じた場合。

◆ 犬・猫・鳥・鼠などの動物や昆虫などに起因する不具合。

◆ 暴動・テロ活動等の不可抗力により発生した損傷。

◆ 弊社発行の施工手順書および施工手順説明動画に記載された事項に従わない保管・取り扱いにより不具合が生じた場合。



株式会社

栗本鐵工所

建材事業部

<http://www.kurimoto.co.jp/>

本社 〒550-8580 大阪市西区北堀江1丁目12番19号
Tel.(06)6538-7707 Fax.(06)6538-7755

東京支社 〒108-0075 東京都港区港南2丁目16番2号
Tel.(03)3450-8556 Fax.(03)3450-8560

北海道建材営業課 〒063-0835 札幌市西区発寒15条12丁目4番10号
Tel.(011)661-6781 Fax.(011)661-6783

九州支店 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番11号
Tel.(092)451-6626 Fax.(092)471-7696

※当カタログ掲載の仕様等は、改良のため予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

※当カタログ記載の内容は、一般的な情報の提供を目的とするものです。細心の注意のもとに作成しておりますが、必ずしも保証を意味するものではありません。

※無断転載、複製を禁じます。

Cat.No/TK-03(24/09)